

# モザンビーク共和国選手団えひめキャンプ パラ陸上事前合宿実施報告書



2022 年1月

モザンビーク共和国選手団えひめキャンプ実行委員会

## 目 次

1. 合宿参加メンバー	.....	1
2. 合宿スケジュール	.....	2
3. 合宿受入れ体制		
(1)新型コロナウイルス感染症対策	.....	3
(2)練習環境	.....	3
(3)練習内容	.....	3
(4)宿泊環境	.....	4
(5)食事	.....	4
(6)その他	.....	5
4. 交流行事		
・ 県内学校とのオンライン交流会	.....	4
5. 文化体験	.....	6
6. 情報発信	.....	7
7. 東京パラリンピック大会結果	.....	8
8. 総括	.....	8

## 1. 合宿参加メンバー 《団長1名 選手2名 コーチ2名 計5名》

<b>団長 (Chef de Mission)</b>	
<p><b>Luis Rodríguez de Vera Mouliaa</b> (ルイス・ロドリゲス) 年齢：44歳 役職：パラリンピック委員会副会長</p>	
<b>選手</b>	
<p><b>Edmilsa Luciano Governo (エドミルサ・ゴベルノ)</b> 種目：T13 (視覚障がい) 女子 100m、400m 年齢：23歳 実績：2016 リオパラリンピック 銅メダル (T12/400m) (2019年に事前合宿で来県)</p>	
<b>選手</b>	
<p><b>Hilário Xavier Chavela (イラーリオ・シャベラ)</b> 種目：T13 (視覚障がい) 男子 400m、走幅跳 年齢：27歳 実績：2021 世界パラ陸上 400m 5位</p>	
<b>コーチ</b>	
<p><b>Francisco Narciso Nhassengo Faquir</b> (フランシスコ・ファキール) 年齢：54歳</p>	
<b>コーチ</b>	
<p><b>Fernando Lucas Mucuho</b> (フェルナンド・ルーカス) 年齢：29歳</p>	

※コロナ対策責任者として、パラリンピック委員会スタッフのアキナ・ヤマダ氏も来県予定であったが、直前に新型コロナウイルスの陽性が確認されたため断念。

## 2. 合宿スケジュール <<5泊6日>>

8月18日	8月19日	8月20日	8月21日	8月22日	8月23日
6:00 ホテル発（専用車）	6:00 ホテル発（専用車）	6:00	6:00	6:00	6:00
7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00 朝食
	7:30 羽田空港着	7:30 検査・朝食	7:30 検査・朝食	7:30 検査・朝食	
	7:50 チェックイン				
8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00
	8:50 保安検査通過	8:30 ホテル発	8:30 ホテル発	8:30 ホテル発	
9:00	9:00	9:00 ニンスタ着	9:00 ニンスタ着	9:00 ニンスタ着	9:00 ホテル発（専用車）
					9:30 松山空港着
	9:50 羽田空港発	トレーニング 公開練習	トレーニング	トレーニング	9:45 チェックイン
10:00	10:00		10:00	10:00	10:00
					10:45 保安検査通過
11:00	11:00		11:00	11:00	11:00
	11:20 松山空港着	11:30 ニンスタ発	11:30 ニンスタ発	11:30 ニンスタ発	11:45 松山空港発
12:00	12:00	12:00 昼食（ホテル）	12:00 昼食（ホテル）	12:00 昼食（ホテル）	12:00
	12:10 松山空港発				
	12:30 ホテル着				
13:00	13:00	13:00	13:00	13:00 休憩	13:00
	13:30 検査	13:30			13:15 羽田空港着
					13:30 TAバス乗車
14:00	14:00 昼食	14:00 オンライン交流会	14:00 砥部焼絵付け体験	14:00	14:00 選手村へ（TAバス）
	14:30 オリエンテーション	（ホテル）	（ホテル）		14:30 選手村入村
15:00	15:00 メッセージ動画撮影	15:00 オンライン交流会終了	15:00 絵付け体験終了	15:00	15:00
	15:45 ホテル発	15:30			
16:00	16:00	16:00 ホテル発	16:00 ホテル発	16:00 ホテル発	16:00
	16:30 ニンスタ着	16:30 ニンスタ着	16:30 ニンスタ着	16:30 ニンスタ着	
17:00	17:00 トレーニング	17:00 トレーニング	17:00 トレーニング	17:00 トレーニング	17:00
18:00	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00
	18:30 ニンスタ発	18:30 ニンスタ発	18:30 ニンスタ発	18:30 ニンスタ発	
19:00	19:00 ホテル着	19:00 ホテル着	19:00 ホテル着	19:00 ホテル着	19:00
	夕食（ホテル）	夕食（ホテル）	夕食（ホテル）	夕食（ホテル）	
20:00	20:00 休養	20:00 休養	20:00 休養	20:00 休養	20:00
20:15 成田空港着					
21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00
	検疫・入 国手続き				
22:00	22:00	22:00	22:00	22:00	22:00
23:00	23:00	23:00	23:00	23:00	23:00
	選手団入国				
0:00 バスへ移動					
0:15 ホテル着					

### 3. 合宿受入れ体制

#### (1) 新型コロナウイルス感染症対策

内閣官房オリパラ事務局が示す感染症対策に基づき作成した受入マニュアルを遵守し実施した。主な対策は以下のとおり。

##### ①スクリーニング検査の実施

滞在期間中、選手団及び帯同スタッフ(通訳・運転手・事務局職員)のPCR検査を毎日実施。また、ホテル及び練習会場職員は合宿前後及び滞在期間中に1回PCR検査を実施。全ての検査において陰性を確認。

##### ②移動時の接触回避

到着空港から国内線乗り継ぎ便までの移動については、旅行会社及び県職員のアテンドにより、一般客との接触を回避し、移送。

航空機移動の際は航空機の最後列席を手配し、一般客との距離を保つため、選手団の前に2列分の空席を確保。

県内移動は、PCR検査を受けた運転手や消毒済専用車両を確保して実施。

選手団の行動を、練習会場等と宿泊場所の往復のみに限定。

##### ③宿泊・食事時の感染症対策

滞在期間中、ホテルをフロアごと貸し切り、専用の食事会場を確保。

##### ④練習時の感染症対策

ニンジニアスタジアム(愛媛県総合運動公園)を専用利用。

公開練習日はマスコミ関係者との動線を分離し距離を確保。

合宿前後には施設利用箇所の消毒を実施(業者へ委託)。

##### ⑤毎日の健康観察

選手団には県職員が帯同し、行動管理や健康状態を把握。

選手団各人にモバイルWi-Fiを配布し、常時連絡可能な態勢を確保。

##### ⑥感染疑い者等発生時の対応

松山市保健所及び県保健福祉部と連携して、感染疑い者・陽性者発生時の対応フローを策定。

##### ⑦基本的な感染症対策の徹底

三密の回避、場面に応じた適切な社会的距離の確保、マスクの着用、手洗い、消毒、換気の徹底、飛沫対策、体調管理の徹底、モノ経由の接触感染回避。

#### (2) 練習内容

- ・選手団が選手ごとに練習メニューを作成し、選手の体調に合わせて実施。
- ・競技場内でのスタート練習等、本番を想定した練習の他、トレーニングルームでのウェイトトレーニング、屋内練習場での跳躍練習など、それぞれのコーチの指示のもと東京パラリンピック大会へ向けた最終調整を行った。
- ・練習用具として、ミニハードル、ミニコーン、マーカーコーン及び雷管(スタート練習用ピストル)を準備した。



#### (4) 宿泊環境

- ・他の宿泊客との接触を避けるよう動線を分離するため、フロア貸し切り、ホテルの従業員通用口を選択手団出入口とする、合宿期間中はホテル従業員が通用口を利用しない、エレベーター前にパーテーションを設置するなどの対応をとった。
- ・夜間に宿泊フロア内に警備員を配置し、外部との接触がないよう対策した。

#### (5) 食事

- ・愛媛県滞在中の食事は全てホテル内で行い、席ごとにアクリル板を設置した選手団専用の食事会場を用意して選手団と接触がないよう食事の配膳や食事後の片付けを実施した。
- ・選手団は手指消毒や黙食等のコロナ対策を徹底し、食事を摂った。
- ・巻き寿司や天ぷらなどの日本食を含むバランスに配慮したメニューの他、補食としてフルーツやヨーグルトなどを用意した。

#### (6) その他

##### ○通信環境

- ・選手団は、インターネットを通じた情報収集や、SNS、電話等のため、また、コーチは日ごとの練習内容や結果をモザンビークパラリンピック委員会へ報告する必要があるため、スマートフォンを日常的に使用しており、高速インターネット環境が不可欠であることから、国内用のモバイル Wi-Fi ルータをレンタルし、配付した。

##### ○通訳

合宿期間中、2007年に大阪で開催された世界陸上でもポルトガル語通訳を担当したベテラン通訳者を帯同させた。

## 4. 交流行事

### ● 県内学校とのオンライン交流会

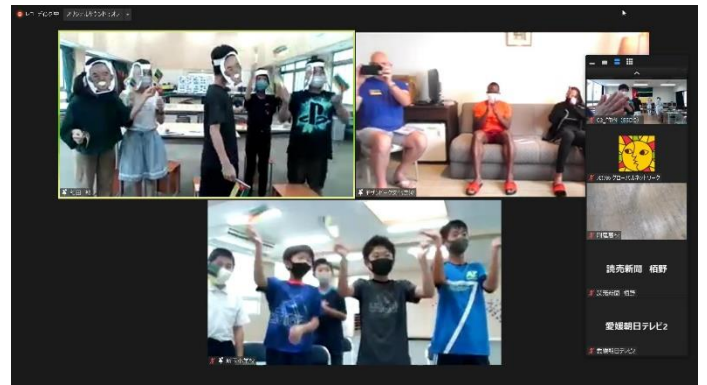
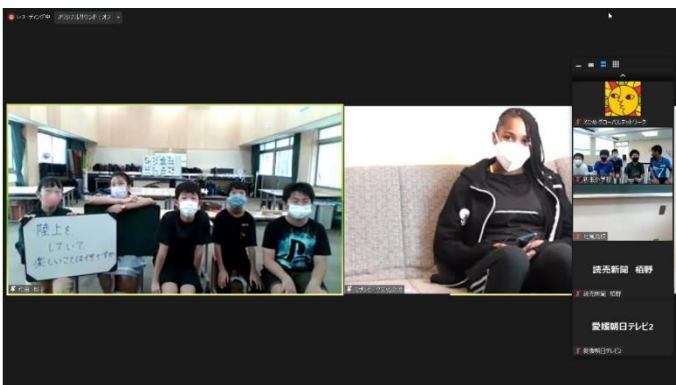
参加校：愛媛大学附属小学校・新玉小学校・愛媛大学附属高等学校

日 時：令和3年8月20日(金)14:00～15:00

内 容：松山市内の学校の児童・生徒とのオンライン交流会を実施した。

児童からはダンスでの応援、高校生からは書道パフォーマンスで選手の名前を漢字で当て字したり、パラリンピック本番へ向けた激励のメッセージカードを選手団へプレゼント(後日ホテルの選手団へ届けた)するなどにより交流した。





## 5. 文化体験

**砥部焼絵付け体験 8月21日(土)～22日(日) ホテル休養時**

砥部町陶芸創作館の出張絵付け体験キットをレンタルし、ホテル内で砥部焼き(コーヒーカップ)の絵付けを体験した。



## 6. 情報発信

### ○マスコミへの公開練習

日 時: 令和3年8月20日(金)10:00~11:00

取材マスコミ: NHK、愛媛朝日テレビ、南海放送、読売新聞、テレビ愛媛 ※当日受付順



### ●質疑応答

Q1 受け入れ態勢やおもてなしも含め愛媛の印象は？

【エドミルサ選手】

2019年、今回と愛媛に2回も呼んでいただきありがたい。

2019年に合宿に来たときには、練習方法などとても価値のあることを身に付けることができた。

練習中やホテル滞在中などに、細かいところまでよく気が付いていただき感謝している。

【イラーリオ選手】

温かく迎えていただき、とても感謝している。

よく準備されていて、必要なことはすべてしていただき感謝している。

Q2 本番に向けての意気込みは？

【エドミルサ選手】

東京パラリンピックで優れた選手たちと試合に臨めることをうれしく思う。

状態もよく、モチベーションも高く保っているので大会では良い結果を出したい。

【イラーリオ選手】

東京パラリンピックで表彰台に登り、また愛媛に帰ってきたいと思う。



## 7. 東京パラリンピック大会結果

### 【エドミルサ選手】

100m 予選 12.71 秒 予選敗退 自己ベスト更新

400m 予選 55.50 秒 予選 1 位で決勝進出 アフリカ大陸記録更新  
決勝 57.68 秒 6位入賞 ※ゴール直前で足をつるアクシデント

### 【イラーリオ選手】

400m 予選 53.02 秒 予選敗退 自己ベスト更新

走り幅跳び 決勝 5.18m 7位入賞

## 8. 総括

### ○選手団の評価

- ・コロナ禍にもかかわらず合宿を実施できたことに大変感謝している。
- ・合宿で利用した施設は、いずれもきれいで整っており、申し分ない。  
モザンビークと日本では時差が7時間あるため、事前合宿を実施できたことは選手のコンディション向上に寄与した。
- ・できれば多くの県民と交流したかったが、コロナ禍のため仕方ないと思っている。